

渡り廊下屋根「スカイパス」 直角コーナーユニット 施工説明書

- この度は、当社製品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この説明書は施工後必ず施主様へお渡しください。

注意事項

施工にあたっては次の点をご確認ください。

◎設置場所・位置について

- ガス給湯器などの熱や排気ガスが製品に直接当たる、またはこもるような場所に設置しないでください。熱による塗装劣化・剥離（はくり）、また排気ガスによる腐食の原因になります。

◎施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。

- 埋込柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 地盤が軟弱な場合は、柱の埋め込み深さ、フーチングの大きさを考慮してください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵表示	意味	絵表示	ご使用上の注意とお願い
	この表示を無視して誤った取扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。		「必ず行っていただくこと」を示しています。

注意

- 各ボルト・ビス類は、確実に締め付けてください。
- 無理にボルト・ビスを締め付けしないでください。破損の原因となります。



本説明書では、スカイパス本体との共通項目については、スカイパス本体の施工説明書を参照するように示しています。

- ・両支持の場合 ⇒ [ME-1750] を参照
- ・片支持の場合 ⇒ [ME-1777] を参照

もくじ

梱包明細.....	2	9. 屋根材の取付け.....	20
各部の名称.....	3	9-1 施工前の確認.....	20
納まり図.....	4	9-2 屋根材の取付け.....	21
柱配置図.....	6	★ 10. 雨樋の取付け.....	23
垂木・中骨配置図.....	8	★ 11. 縦樋カバーの取付け（※オプション）.....	23
★ 1. 基礎の施工.....	9	施工完了時の注意事項.....	24
★ 2. 柱部品の取付け.....	9	施工工事店様、販売店様へのお願い.....	24
3. 桁の取付け.....	9		
4. 桁の連結.....	11		
5. 垂木・メイン垂木の取付け.....	14		
6. 補助垂木の取付け.....	15		
★ 7. 桁の本締めとコンクリートの打ち込み.....	18		
8. 中骨の取付け.....	18		
8-1 中骨（標準）の取付け.....	18		
8-2 中骨（メイン垂木取付け用）の取付け.....	18		



★印の項目については、スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を合わせて参照してください。

※直角コーナーユニットは「平地納まり」となります。[ME-1750] または [ME-1777] を参照するときは、「平地納まりの場合」の手順にしたがってください。

梱包明細

- 施工前に、部材数量および部品数量を確認してください。また、品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- 説明書に記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

表内の（ ）は個数を表しています。

梱包名称	区分	梱包内容	備考
両支持柱セット	標準柱	標準柱 (2)・桁ブラケットセット (2) [桁ブラケット B (1)・M8 × 18 六角セムスボルト (4)]	両支持の場合
	長柱	長柱 (2)・桁ブラケットセット (2) [桁ブラケット B (1)・M8 × 18 六角セムスボルト (4)]	
片支持柱セット	2本入り	標準柱 (2)	片支持の場合
		長柱 (2)	
	1本入り	標準柱 (1)	
		長柱 (1)	
片支持ジョイナーセット		片支持ジョイナー (1)・M8 × 25 六角セムスボルト (12) 柱固定裏板 (4) M10 × 25 六角セムスボルト (8) 桁・桁受け梁ブラケット (1)・φ 4 × 19 セルフドリリングビス (4) 片支持梁キャップ (2)・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (4)	
桁取付部品セット		アンカー棒 (2)・桁取付ブラケット A (2)・φ 6 × 20 皿タッピン 3 種 (8) M8 × 18 六角セムスボルト (4)・桁ブラケット用裏板 (2)	
桁受け梁セット	2本入り	桁受け梁 (2)	
直角コーナー用桁受け梁セット	1本入り	桁受け梁 (1)	片支持の場合
桁・中骨セット		直角コーナー用桁 (外) (左右各 1)・直角コーナー用桁 (内) (左右各 1) 桁 (直角コーナー出隅用) (1)・桁 (直角コーナー入隅用) (1) 桁ピース A (8/10/12 ※1)・桁ピース B (4)・中骨 (10/14/18 ※1)・上勾配端部中骨 (2/4/6 ※1)	
メイン垂木セット		直角コーナー用メイン垂木 (左右各 1)・押え材 (2) 屋根材取付用ビスセット (1) [φ 4 × 12 ゴムワッシャ付セルフドリリングビス (16/24/36/45 ※1)] 垂木ブラケットセット (1) [垂木ブラケット (4)・φ 5 × 20 トラストタッピン 3 種 (16)] 垂木排水部品セット (1) [垂木排水部品 (6)・φ 4 × 13 セルフドリリングビス (12)]	
垂木セット	3本入り	垂木 (3)・押え材 (3) 屋根材取付用ビスセット (1) [φ 4 × 12 ゴムワッシャ付セルフドリリングビス (24/36/45 ※1)] 垂木ブラケットセット (1) [垂木ブラケット (6)・φ 5 × 20 トラストタッピン 3 種 (24)] 垂木排水部品セット (1) [垂木排水部品 (4)・φ 4 × 13 セルフドリリングビス (8)]	
補助垂木セット	3本入り	直角コーナー用補助垂木 (左右各 1)・押え材 (左右各 1) 屋根材取付用ビスセット (1) [φ 4 × 12 ゴムワッシャ付セルフドリリングビス (60)] φ 4 × 25 トラストタッピン 3 種 (6) 垂木ブラケットセット (1) [垂木ブラケット (6)・φ 5 × 20 トラストタッピン 3 種 (24)] 垂木排水部品セット (1) [垂木排水部品 (6)・φ 4 × 13 セルフドリリングビス (12)]	
	2本入り	直角コーナー用補助垂木 (左右各 2)・押え材 (左右各 2) 屋根材取付用ビスセット (1) [φ 4 × 12 ゴムワッシャ付セルフドリリングビス (24/36 ※1)] φ 4 × 25 トラストタッピン 3 種 (4) 垂木ブラケットセット (1) [垂木ブラケット (4)・φ 5 × 20 トラストタッピン 3 種 (16)] 垂木排水部品セット (1) [垂木排水部品 (4)・φ 4 × 13 セルフドリリングビス (8)]	
	1本入り	直角コーナー用補助垂木 (左右各 3)・押え材 (左右各 3) 屋根材取付用ビスセット (1) [φ 4 × 12 ゴムワッシャ付セルフドリリングビス (10/16 ※1)] φ 4 × 25 トラストタッピン 3 種 (2) 垂木ブラケットセット (1) [垂木ブラケット (2)・φ 5 × 20 トラストタッピン 3 種 (8)] 垂木排水部品セット (1) [垂木排水部品 (2)・φ 4 × 13 セルフドリリングビス (4)]	
縦雨樋セット		縦樋 (2)	
桁連結横樋セット		連棟樋用セット部品 (1) [連棟樋端部キャップ (2)・連棟樋取付金具 (4)] φ 4 × 16 ゴムワッシャ付セルフドリリングビス (8)・M4 × 12 トラストタッピン 3 種 (12) 落し口パッキン (4)・落し口 (2)・水抜き穴塞ぎ (2)・M8 ナット (4)・M8 用平座金 (4) M8 用バネ座金 (4)・菱形ボルト (4)]	片支持の場合
部品箱		桁連結スリーブ (2)・桁連結スリーブ (直角出隅) (2)・桁連結スリーブ (直角入隅) (2) φ 4 × 19 細目セルフドリリングビス (48)・雨樋連結裏板 (6)・φ 4 × 14 トラストタッピン 3 種 (12) 止水パッキン (桁連結部) (6)・桁連結部カバー (コーナー用) (6) 補助垂木ブラケット (左右各 1/2/3 ※1)・補助垂木ブラケット B (2/4/6 ※1)・M8 × 18 六角ボルト (2/4/6 ※1) M8 × 75 六角ボルト (2/4/6 ※1)・M8 用座金 (4/8/12 ※1)・M8 用バネ座金 (2/4/6 ※1) M8 ナット (2/4/6 ※1)・補助垂木パッキン (2/4/6 ※1) 中骨取付部品 (6/4/2 ※1)・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (6/4/2 ※1)・φ 4 × 13 セルフドリリングビス (6/4/2 ※1) 雨樋部品セット (両支持 4・片支持 2) [落し口パッキン (2)・落し口 (1)・エルボ 88° (2) 固定バンド A (3)・固定バンド B (3)・水抜き穴塞ぎ (1)・接着剤 (1)・φ 4 × 12 トラストタッピン 3 種 (4) φ 4 × 19 セルフドリリングビス (3)・ドレンエルボ (1)・施工説明書 [ME-1752] (1)]	
屋根材	2枚入り	屋根材 (2)	
直角コーナー用屋根材	左右	屋根材 (出隅側) (左右各 1)・屋根材 (入隅側) (左右各 1)・屋根材 (中間部) (1 ※2)	
	メイン垂木部	屋根材 (メイン垂木部) (1)	

※1 は奥行または間口によって個数が異なります。※2 は間口 23・30 に含まれています。

別売品

表内の（ ）は個数を表しています。

梱包名称	梱包内容
縦樋カバーセット	縦樋カバー (1)・縦樋カバーキャップセット (1) [縦樋カバーキャップ (2)・φ 4 × 8 トラストタッピン 3 種 (4)・φ 4 × 19 セルフドリリングビス (12)]

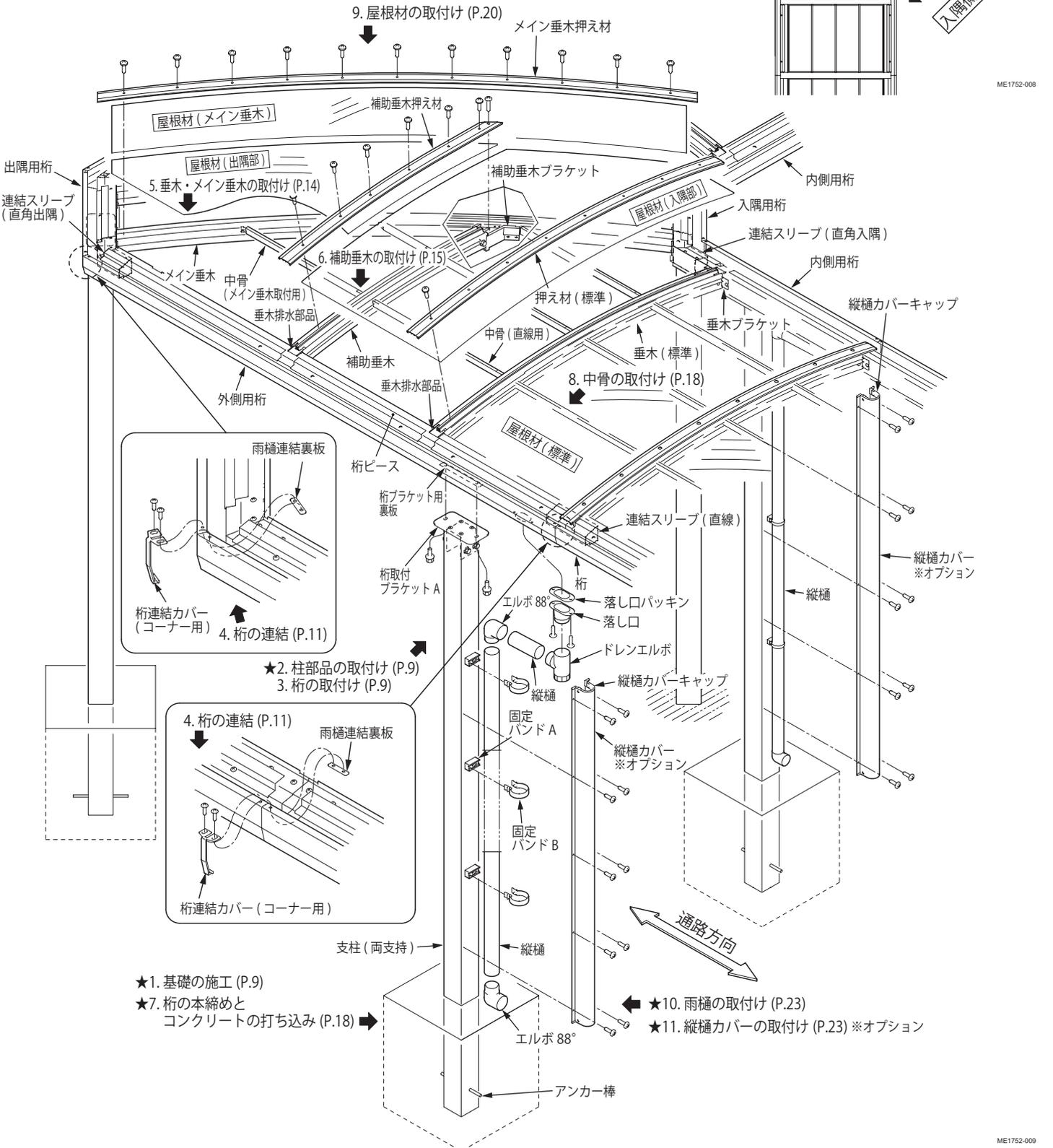
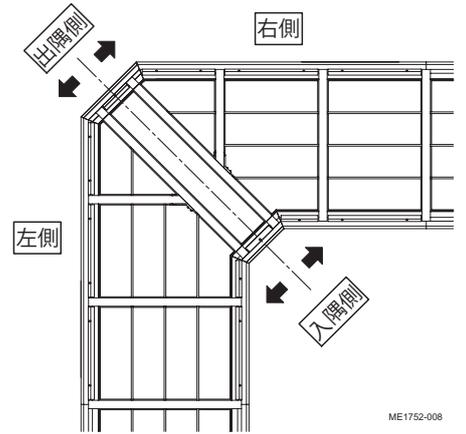
各部の名称

- 組立施工および調整の説明項目を示しています。組立前に確認してください。
- 本図は両支持の場合を示しています。
- ※ () 内は説明ページを示しています。

★印の項目については、スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を合わせて参照してください。

●直角コーナー部は、コーナー対角線を対象軸として左右対称になります。

●コーナー外側が出隅、コーナー内側が入隅となります。



ME1752-008

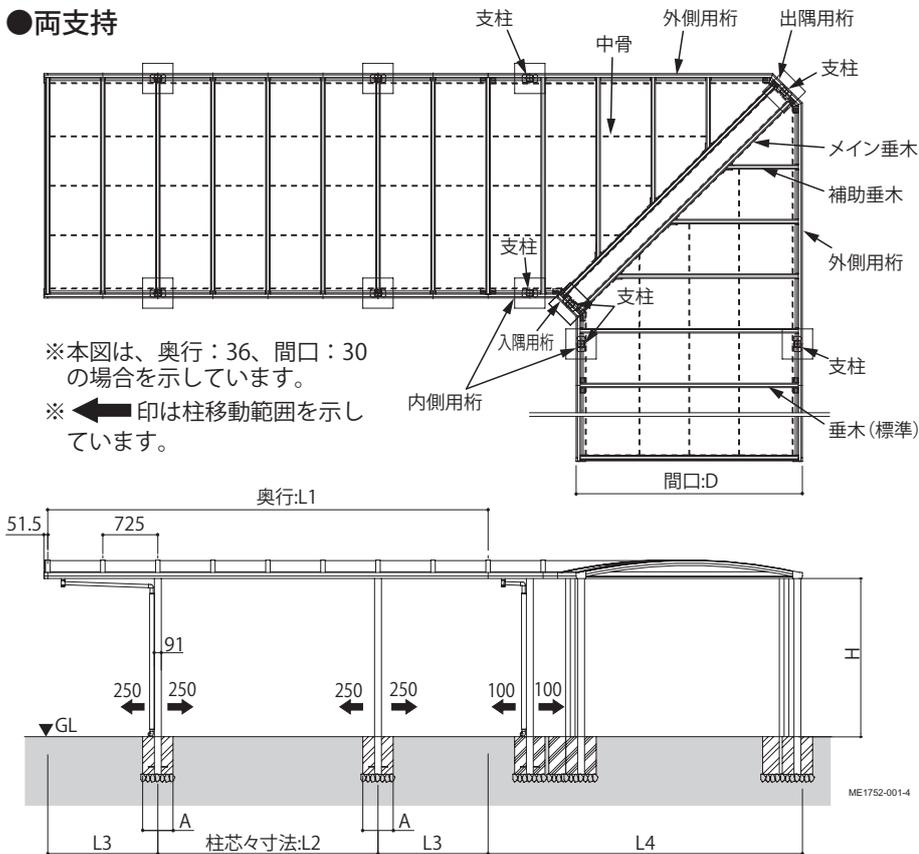
ME1752-009

納まり図

●施工前に必ず確認してください。

基本納まり図

●両支持



※本図は、奥行：36、間口：30の場合を示しています。

※ ←印は柱移動範囲を示しています。

●基本寸法表 (mm)

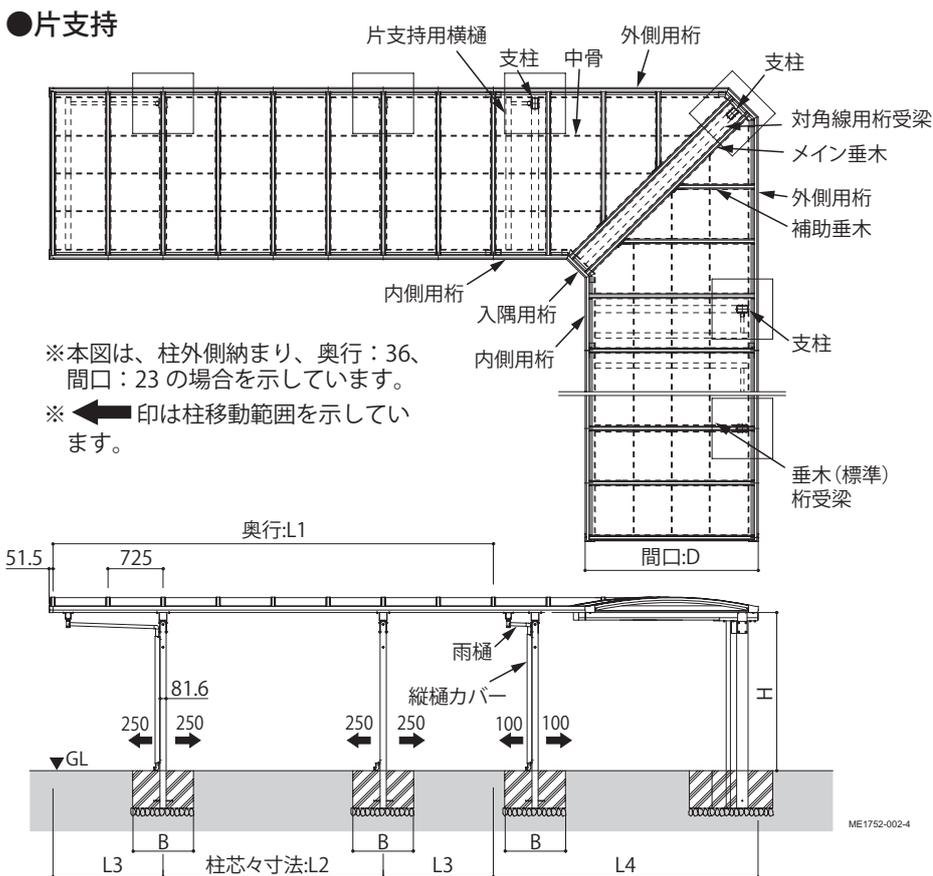
奥行	L1	L2	L3	L4
36	3600	2175	725	※「コーナー部詳細図」を参照 (5ページ)
58	5800	2900	1450	

柱の種類	H (mm)	(mm)	
		間口	D
標準柱	2100	12	1180
長柱	2500	17	1680
		20	1980
		23	2280
		30	2980

●基礎寸法表 (mm)

地耐力	A
30 kN/ m ²	550
30 kN/ m ²	400

●片支持



※本図は、柱外側納まり、奥行：36、間口：23の場合を示しています。

※ ←印は柱移動範囲を示しています。

●片支持には、柱位置により下記の納まりがあります。

- ・柱外側納まり
- ・柱内側納まり
- ・柱センター納まり

●6～7ページの「柱配置図」を合わせて参照してください。

●基本寸法表 (mm)

奥行	L1	L2	L3	L4
36	3600	2175	725	※「コーナー部詳細図」を参照 (5ページ)
58	5800	2900	1450	

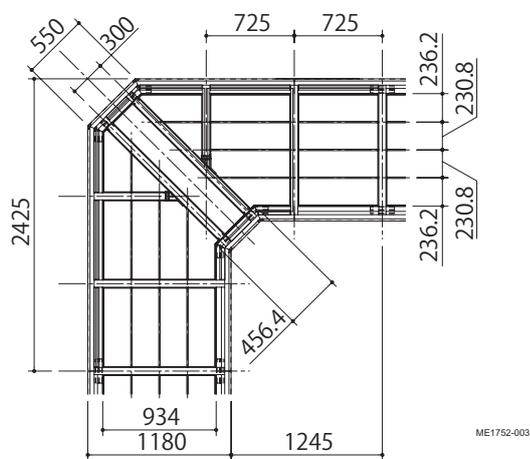
柱の種類	H (mm)	(mm)	
		間口	D
標準柱	2100	12	1180
長柱	2500	17	1680
		20	1980
		23	2280
		30	2980

●基礎寸法表 (mm)

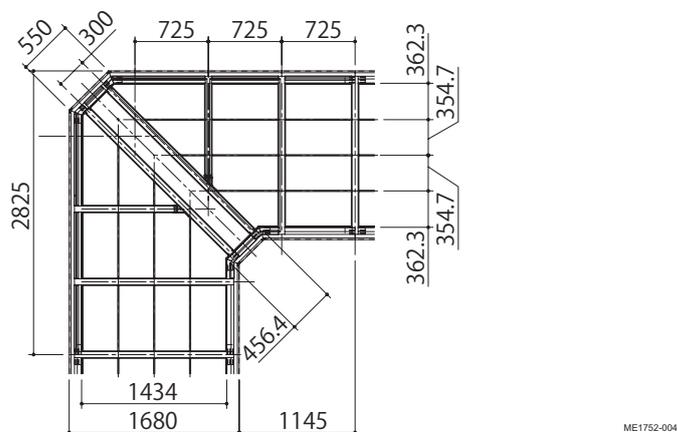
地耐力	B	
	標準納まり	センター柱
30 kN/ m ²	1100	750
30 kN/ m ²	1000	650

コーナー部詳細図

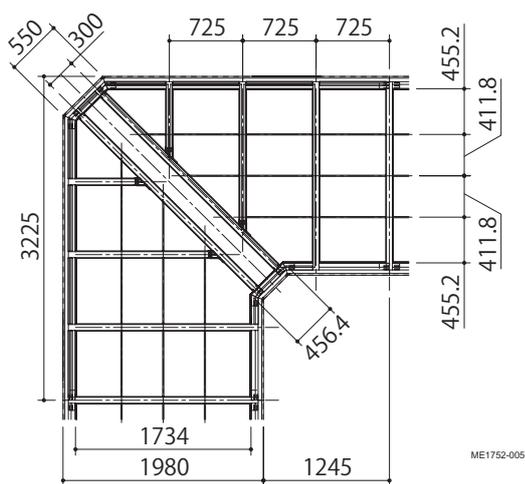
●間口：12



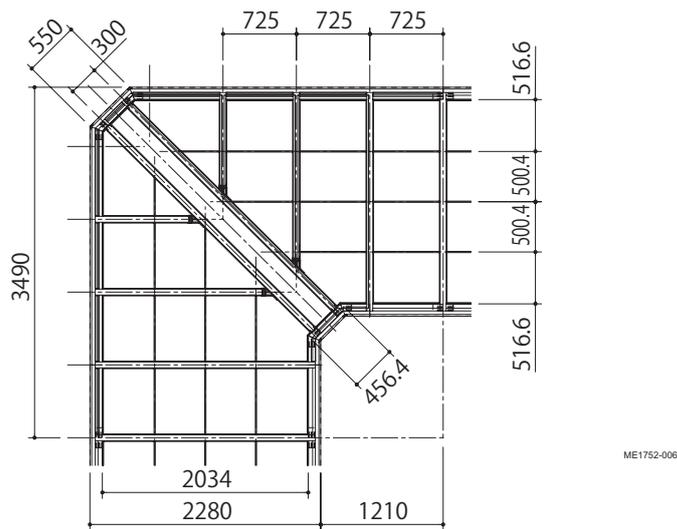
●間口：17



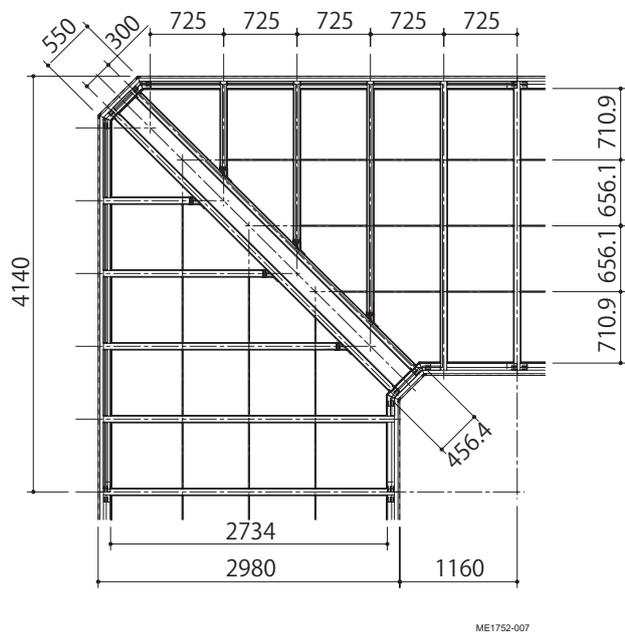
●間口：20



●間口：23



●間口：30

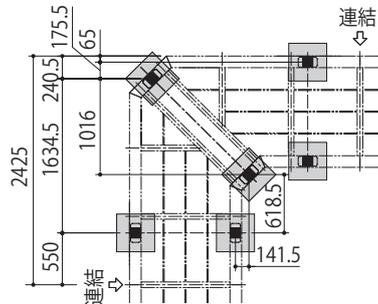


柱配置図

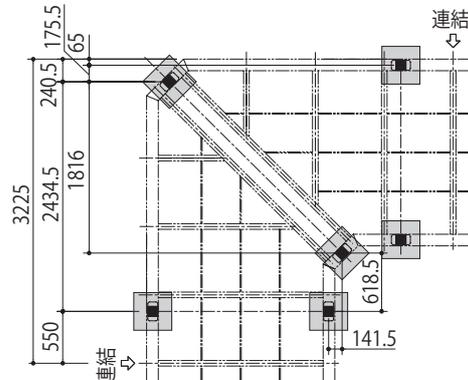
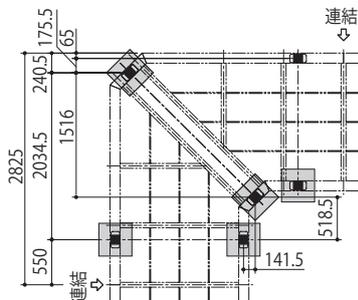
●施工前に確認してください。

両支持

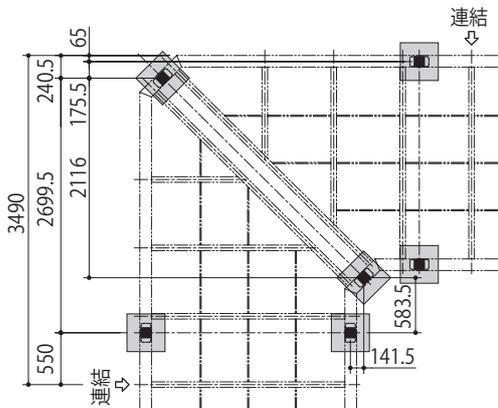
●間口：12



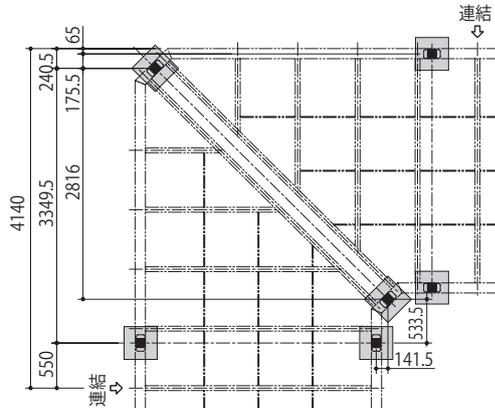
●間口：17



●間口：23

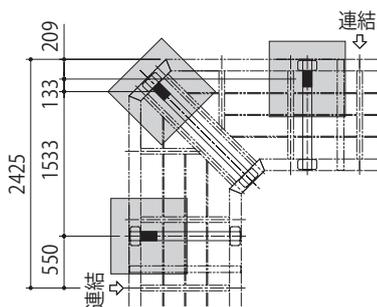


●間口：30

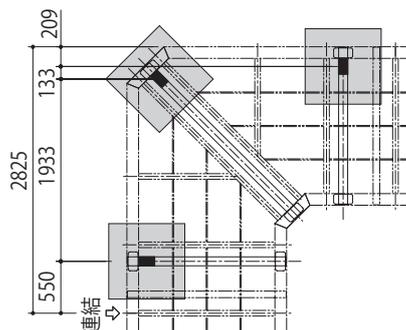


片支持（柱外側納まり）

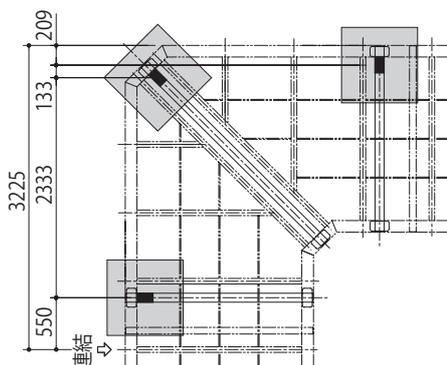
●間口：12



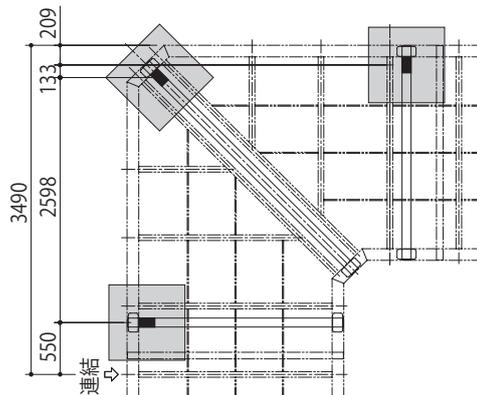
●間口：17



●間口：20

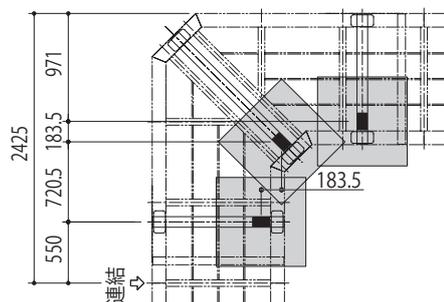


●間口：23

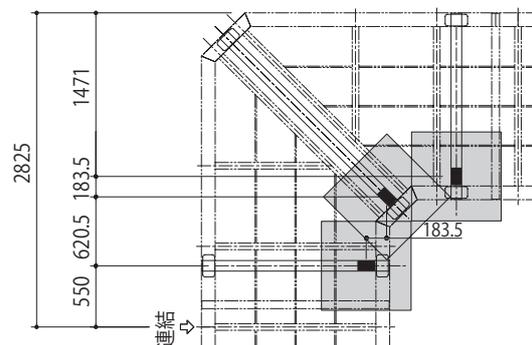


片支持（柱内側納まり）

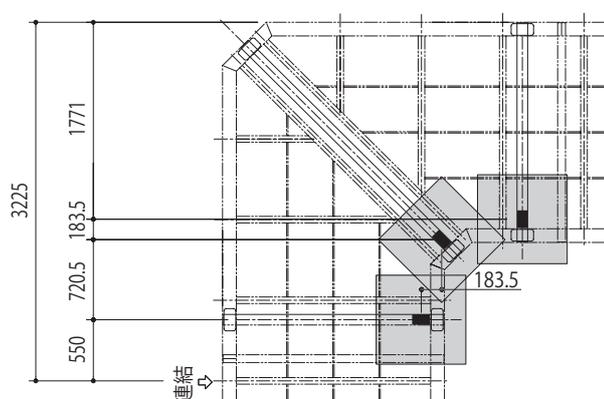
●間口：12



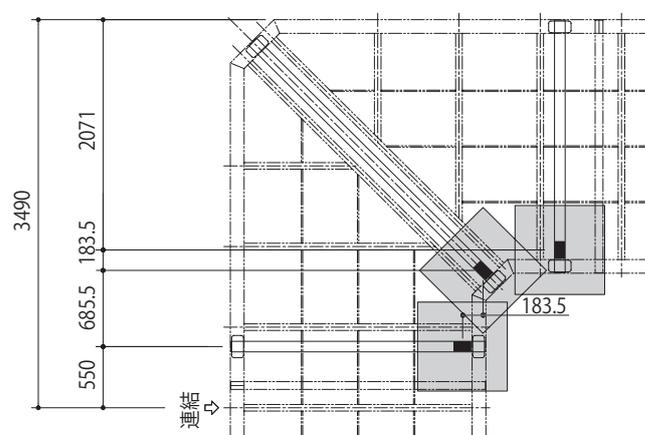
●間口：17



●間口：20

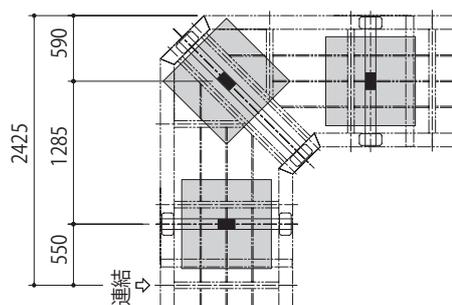


●間口：23

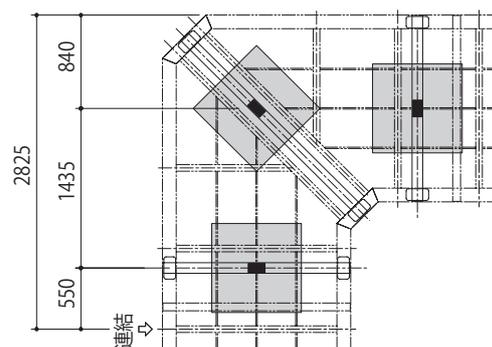


片支持（柱センター納まり）

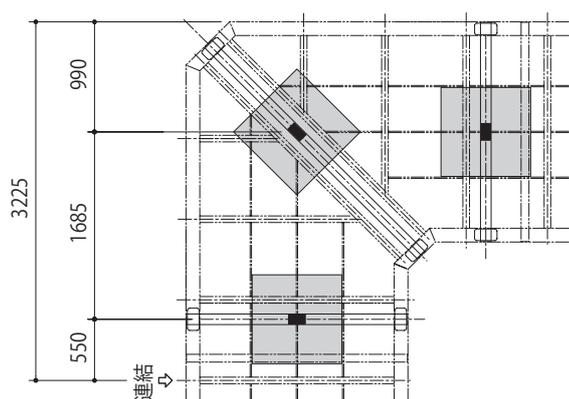
●間口：12



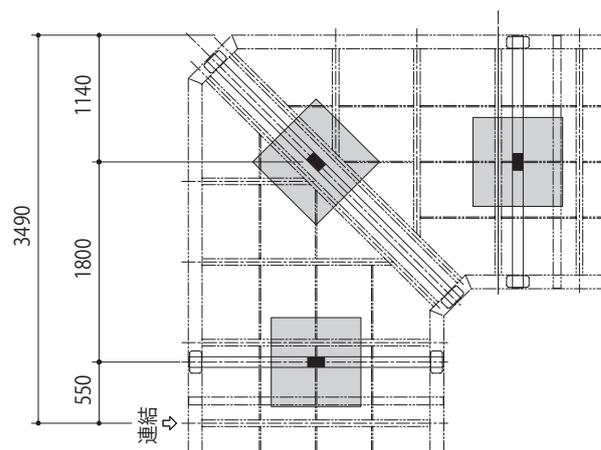
●間口：17



●間口：20



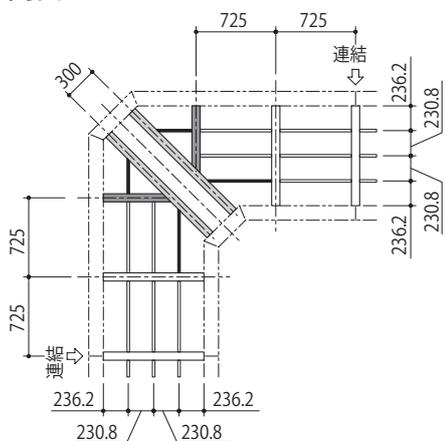
●間口：23



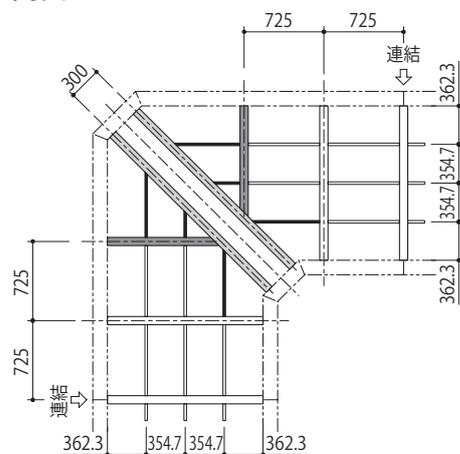
垂木・中骨配置図

●施工前に確認してください。

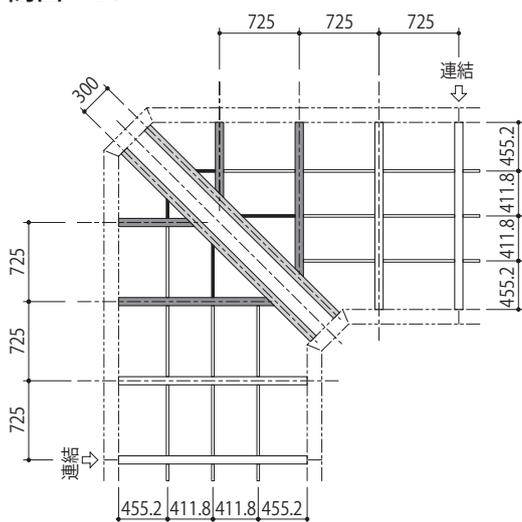
●間口：12



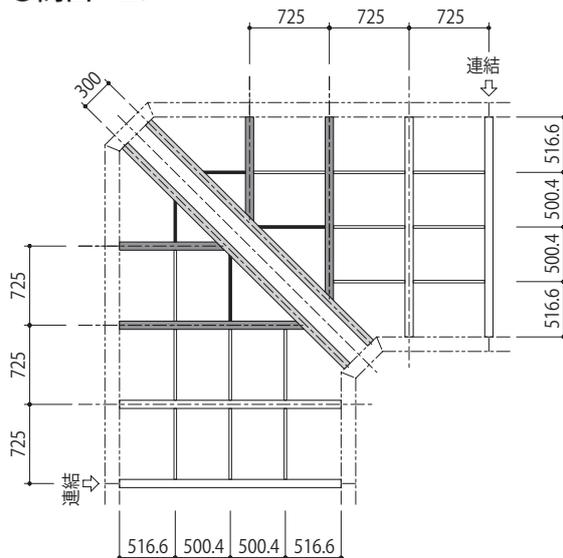
●間口：17



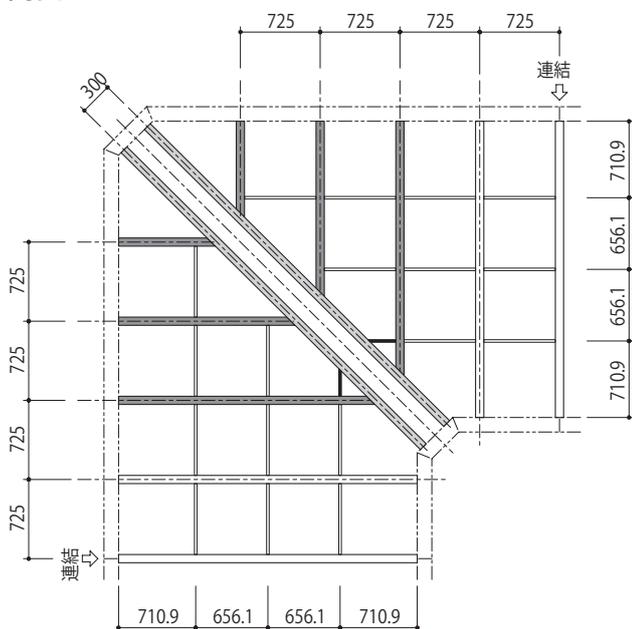
●間口：20



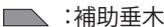
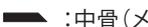
●間口：23



●間口：30



●凡例

-  :メイン垂木
-  :補助垂木
-  :中骨(メイン垂木取付用)
-  :標準の垂木・中骨

1

基礎の施工

- 「納まり図」および「柱配置図」を参照して、柱の位置・基礎寸法を確認してください。

①スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を参照して、柱基礎を施工してください。



参照ページ

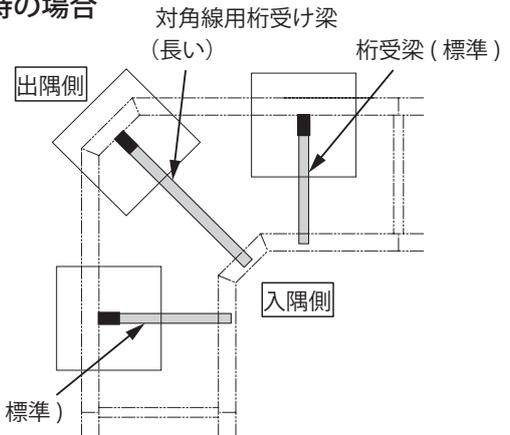
- ・両支持 ⇒ ME-1750 10 ページ「1. 基礎の施工」
- ・片支持 ⇒ ME-1777 9 ページ「1. 基礎の施工」

2

柱部品の取付け

①スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を参照して、柱部品を取付けてください。

●片支持の場合



ME1752-201-1



- 直角コーナー部は平地納まりとなります。
- 参照ページ
- ・両支持 ⇒ ME-1750 10 ページ「2. 柱部品の取付け」
- ・片支持 ⇒ ME-1777 10 ページ「2. 柱部品の取付け」



片支持の場合は、直角コーナーの対角線の部分は、長い桁受梁を取付けてください。

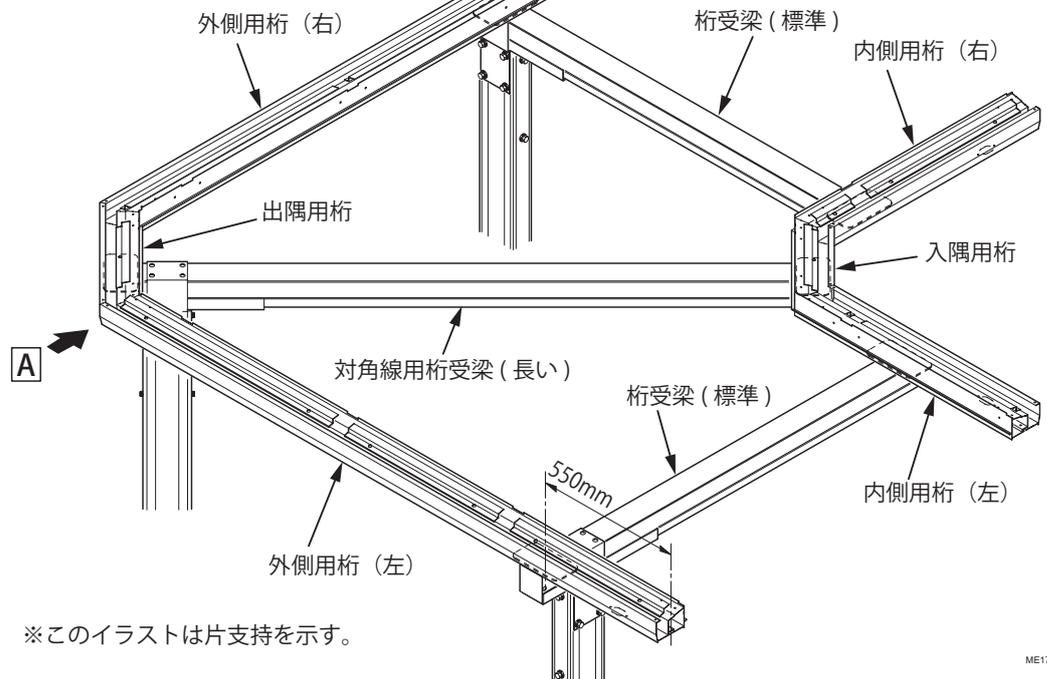
3

桁の取付け



- 桁には使用場所によって下記の種類があります。
- ・外側用桁 (左・右あり)
 - ・内側用桁 (左・右あり)
 - ・出隅用桁
 - ・入隅用桁

●桁の種類と取付イメージ



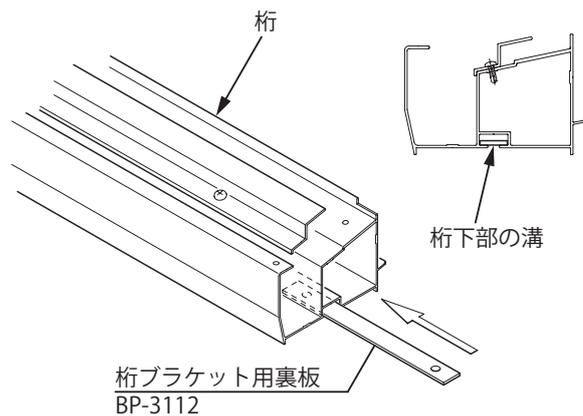
※このイラストは片支持を示す。

ME1752-303

桁の取付け

- ①「納まり図」および「柱位置図」を参照して、支柱の取付位置を確認してください。
- ②柱の位置となる桁下部の溝に、桁ブラケット用裏板を挿入してください。

 桁 1 本につき裏板を 1 枚挿入してください。

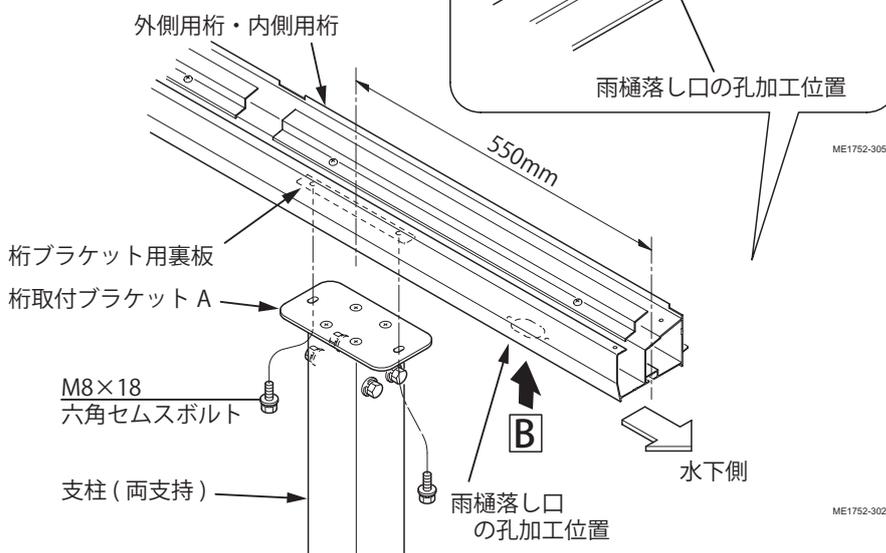


ME1752-301

- ③桁を桁取付ブラケット A に仮止めしてください。

 ●外側用桁・内側用桁には、雨樋落とし口の孔加工位置により左右があります。
●雨樋落とし口の孔加工位置を水下側に配置してください。

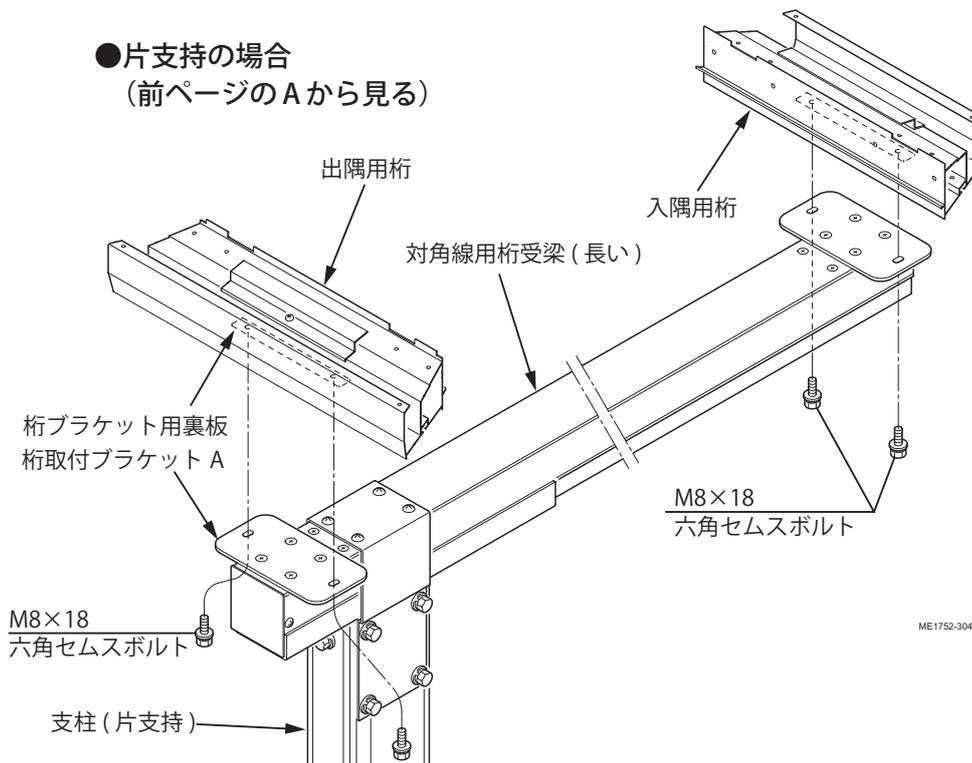
●両支持の場合



ME1752-305

ME1752-302

●片支持の場合 (前ページの A から見る)



ME1752-304

4

桁の連結

●直線部の連結については、スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を参照してください。

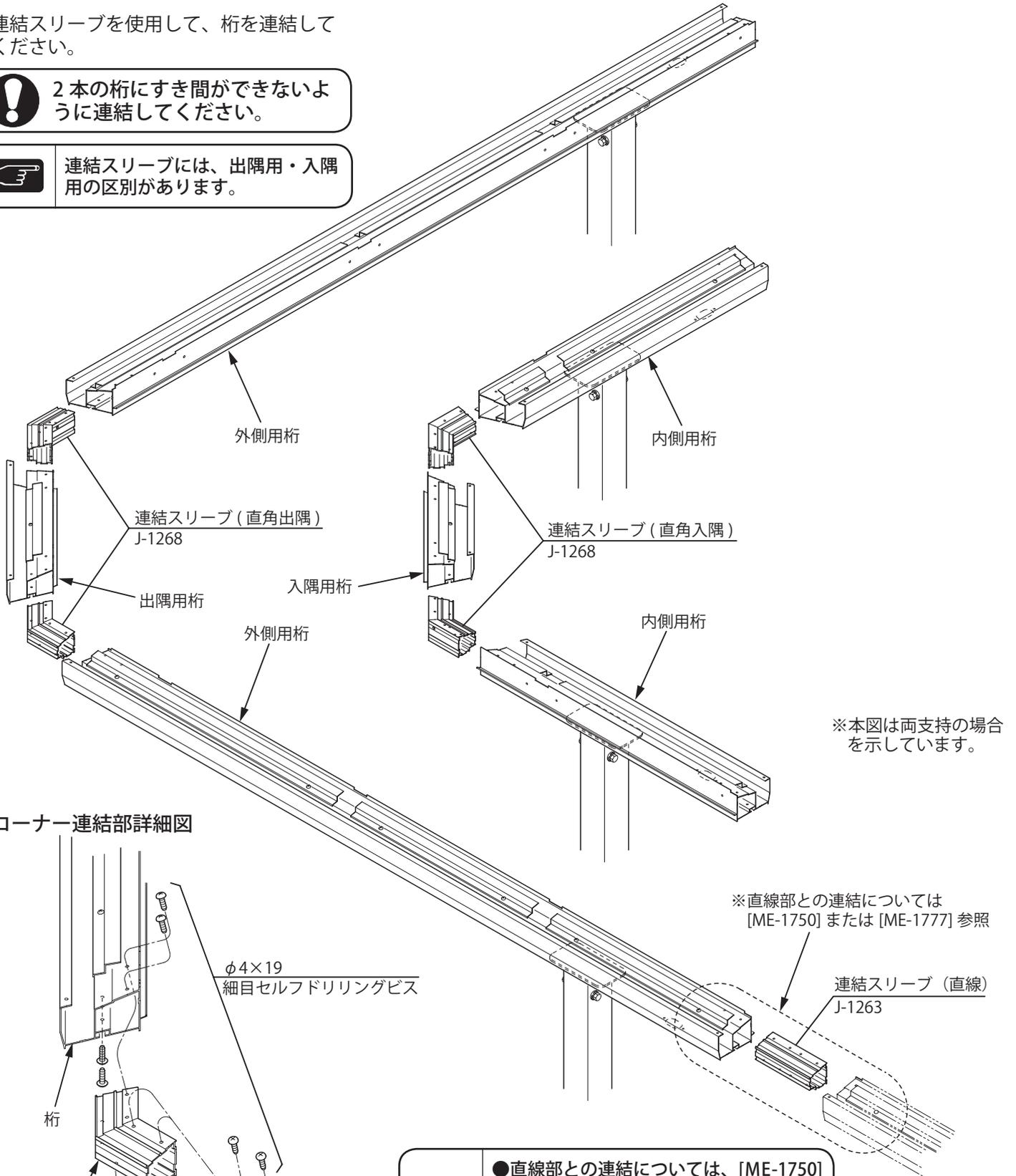
①連結スリーブを使用して、桁を連結してください。



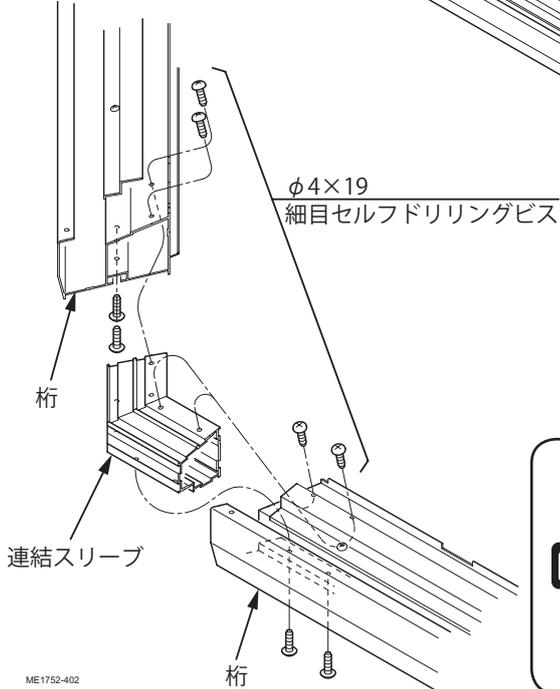
2本の桁にすき間ができないように連結してください。



連結スリーブには、出隅用・入隅用の区別があります。



●コーナー連結部詳細図



●直線部との連結については、[ME-1750] または [ME-1777] を参照してください。

●参照ページ

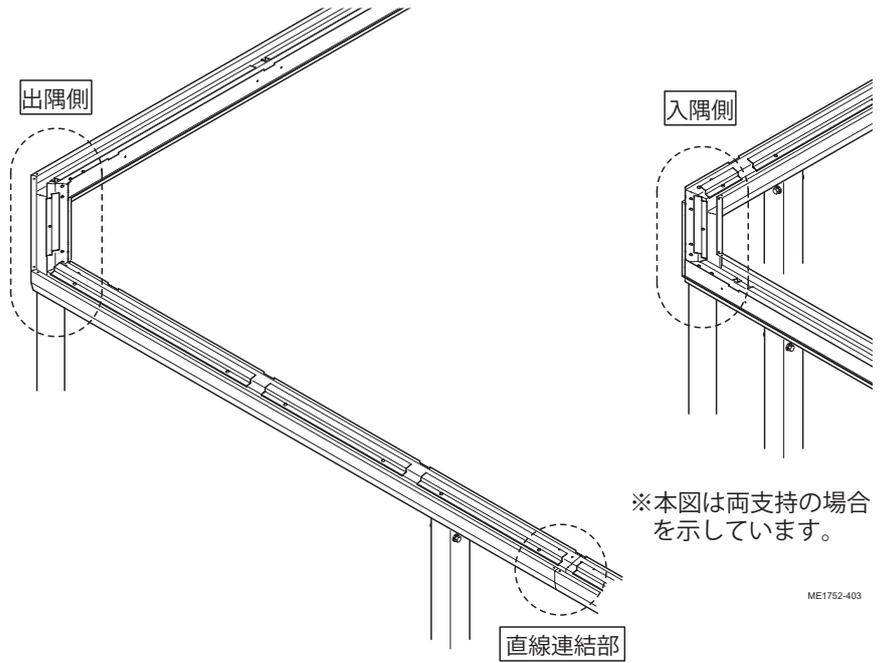
- ・両支持⇒ ME-1750 14 ページ
「4. 桁の連結」
- ・片支持⇒ ME-1777 15 ページ
「4. 桁の連結」

ME1752-401

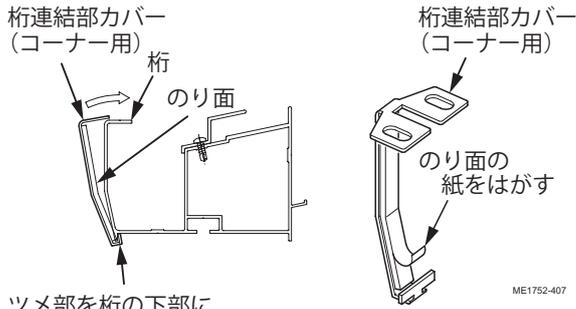
ME1752-402

桁の連結

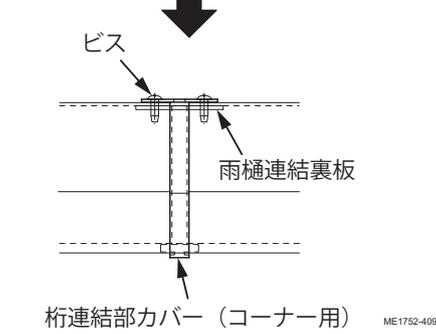
- ② 桁連結部カバーの「のり面」の紙をはがし、桁の連結雨樋部（出隅・入隅・直線）に貼付けてください。
- ③ 雨樋連結裏板と桁連結部カバーを共締めしてください。



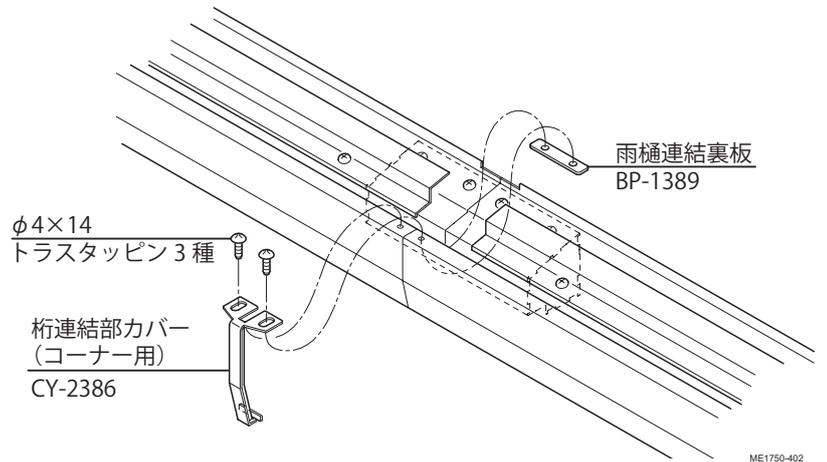
●桁連結部カバーの取付方法



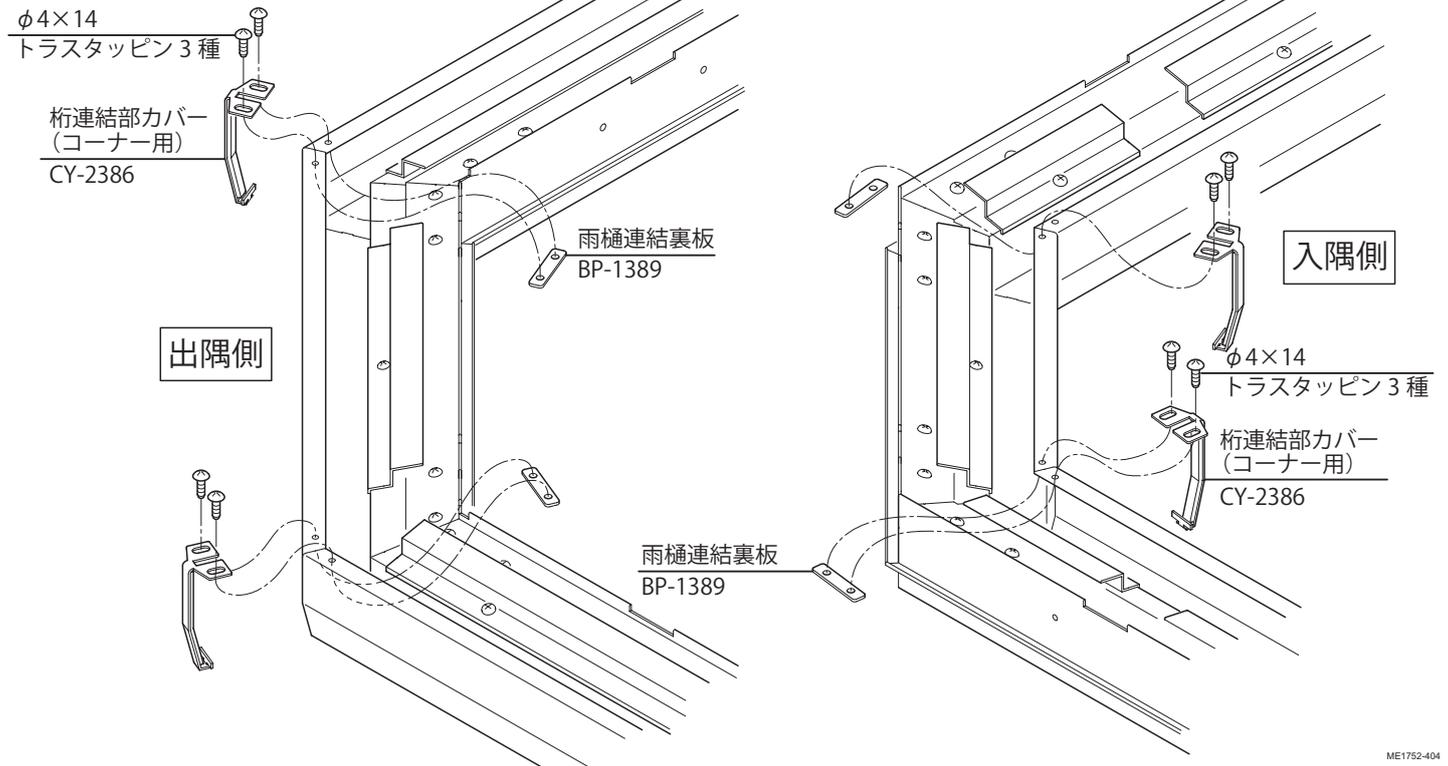
ツメ部を桁の下部に引っ掛ける



●直線連結部



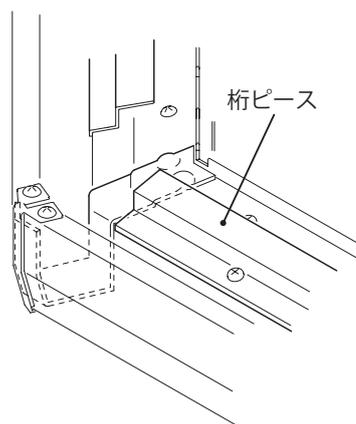
●コーナー連結部



④「のり面」の紙をはがし、桁の連結部上面に貼付けてください。



- 出隅・入隅コーナー部の桁ピースをよけて貼付けてください。
- 桁の形状に合わせて貼付けてください。

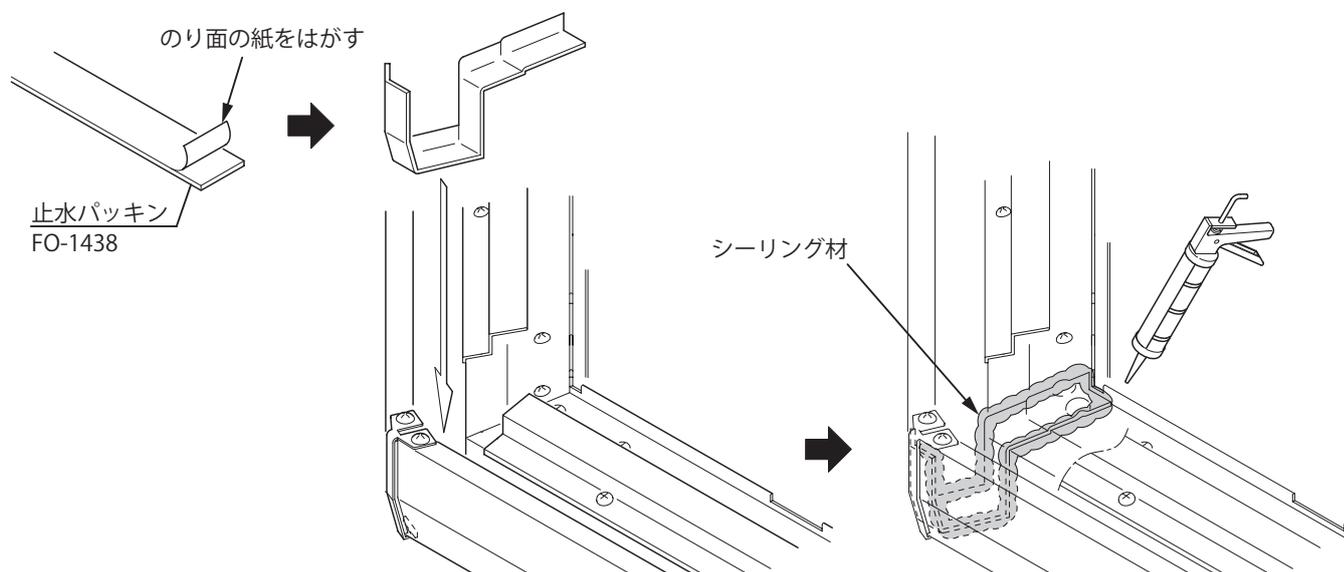


ME1752-408

⑤柱・桁の固定後、止水パッキンの周りにシーリング材で防水処理を行ってください。



防水処理を確実に行ってください。
 ※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。



ME1752-406

5

垂木・メイン垂木の取付け

- 「納まり図」と「垂木・中骨配置図」で各垂木の配置を確認してください。
- スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を合わせて参照してください。

①スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] と同様の手順で、垂木（標準）とメイン垂木を取付けてください。

②スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] と同様の手順で、垂木排水部品を取付け、シーリング材で防水処理を行ってください。



防水処理を確実に行ってください。

※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。



参照ページ

- 両支持⇒ ME-1750 15 ページ 「5. 垂木の取付け」
- 片支持⇒ ME-1777 16 ページ 「5. 垂木の取付け」

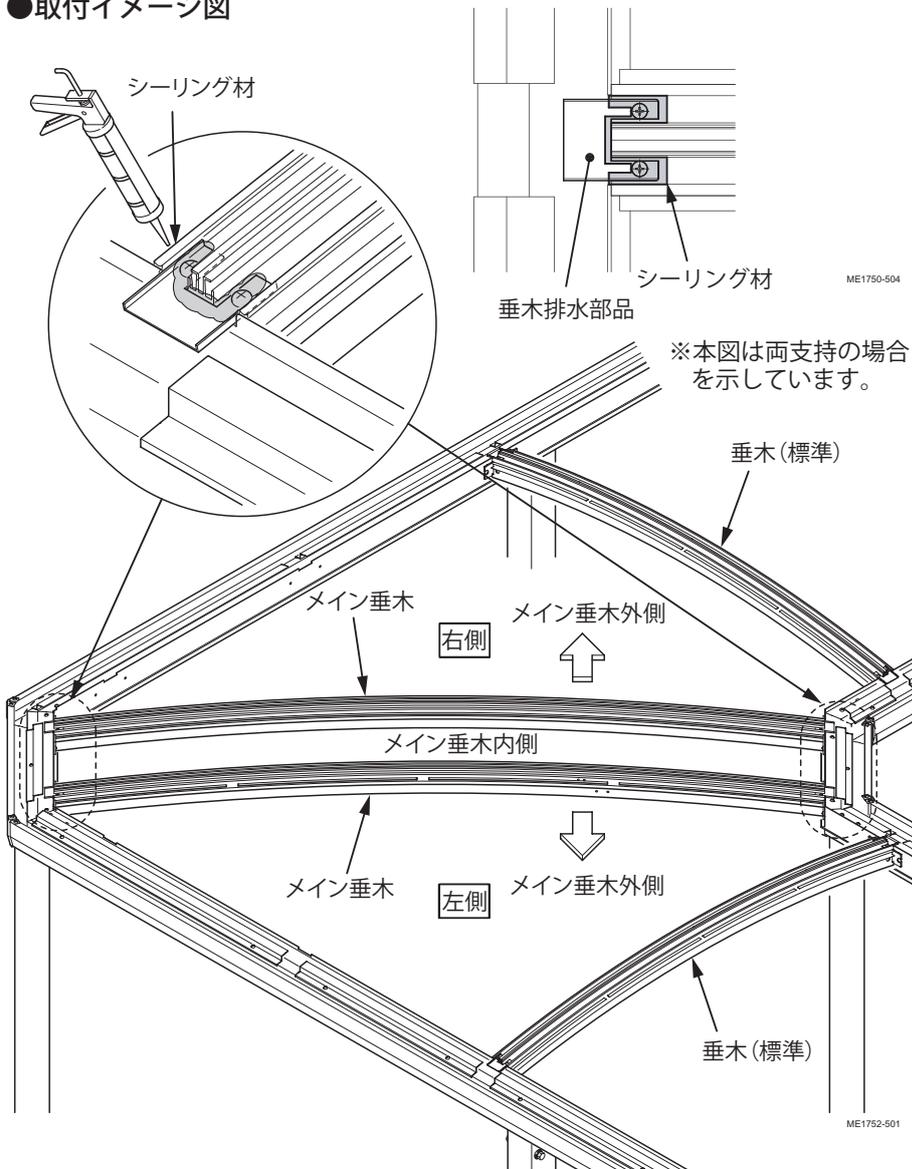


●メイン垂木には左・右、出隅側・入隅側の区別があります。

●下図で配置を確認してください。

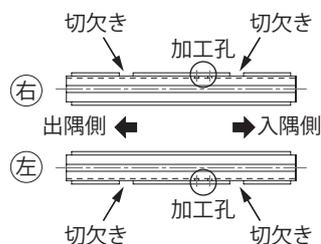
※配置を間違えると、補助垂木・中骨（メイン垂木取付用）が取付けられなくなります。

●取付イメージ図

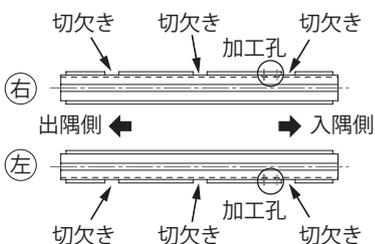


●メイン垂木の左・右、出隅・入隅

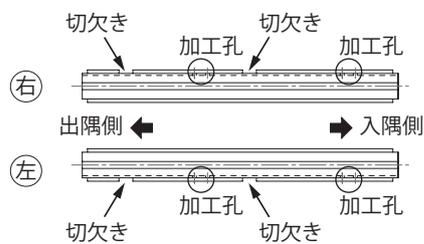
間口：12



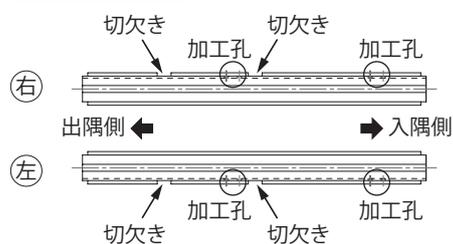
間口：17



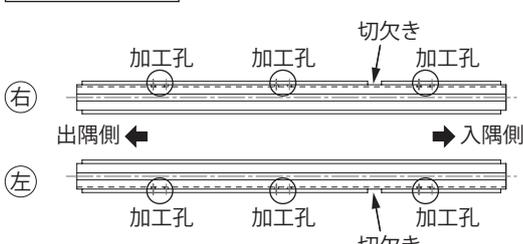
間口：20



間口：23



間口：30



6

補助垂木の取付け

●「納まり図」と「垂木・中骨配置図」で補助垂木の配置を確認してください。

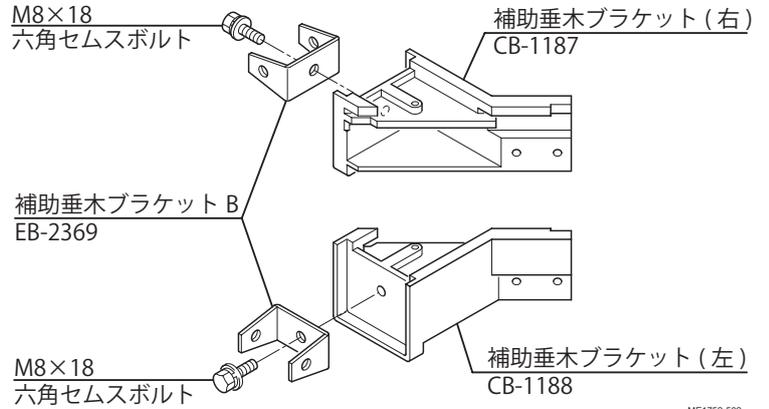
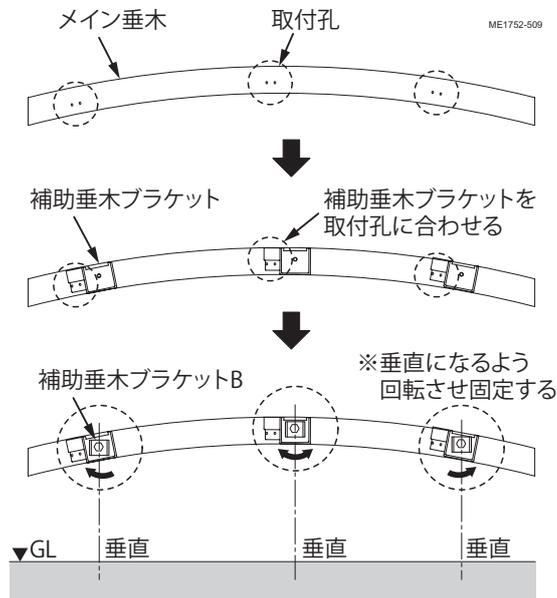
- ①「納まり図」・「垂木・中骨位置図」で補助垂木の取付位置を確認してください。
- ②補助垂木ブラケット B を補助垂木ブラケットに仮止めしてください。



補助垂木ブラケットには左・右の区別があります。

- ③補助垂木ブラケットをメイン垂木の取付孔に合わせ、補助垂木ブラケット B が地面と垂直にし、ボルトを本締めしてください。(図参照)

●補助垂木ブラケット B の固定位置



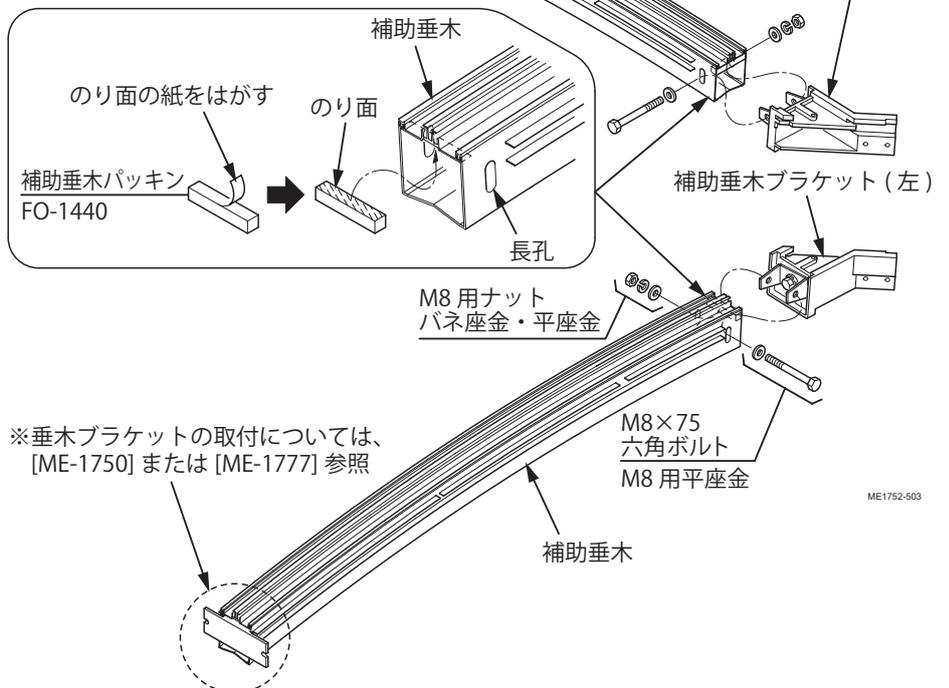
- ④補助垂木パッキンを補助垂木の長孔側に貼付けてください。
- ⑤補助垂木ブラケットを補助垂木の長孔側に仮止めしてください。
- ⑥補助垂木の反対側に、垂木ブラケットを取付けてください。(スカイパス本体 [ME-1750] または [ME-1777] 参照)



参照ページ

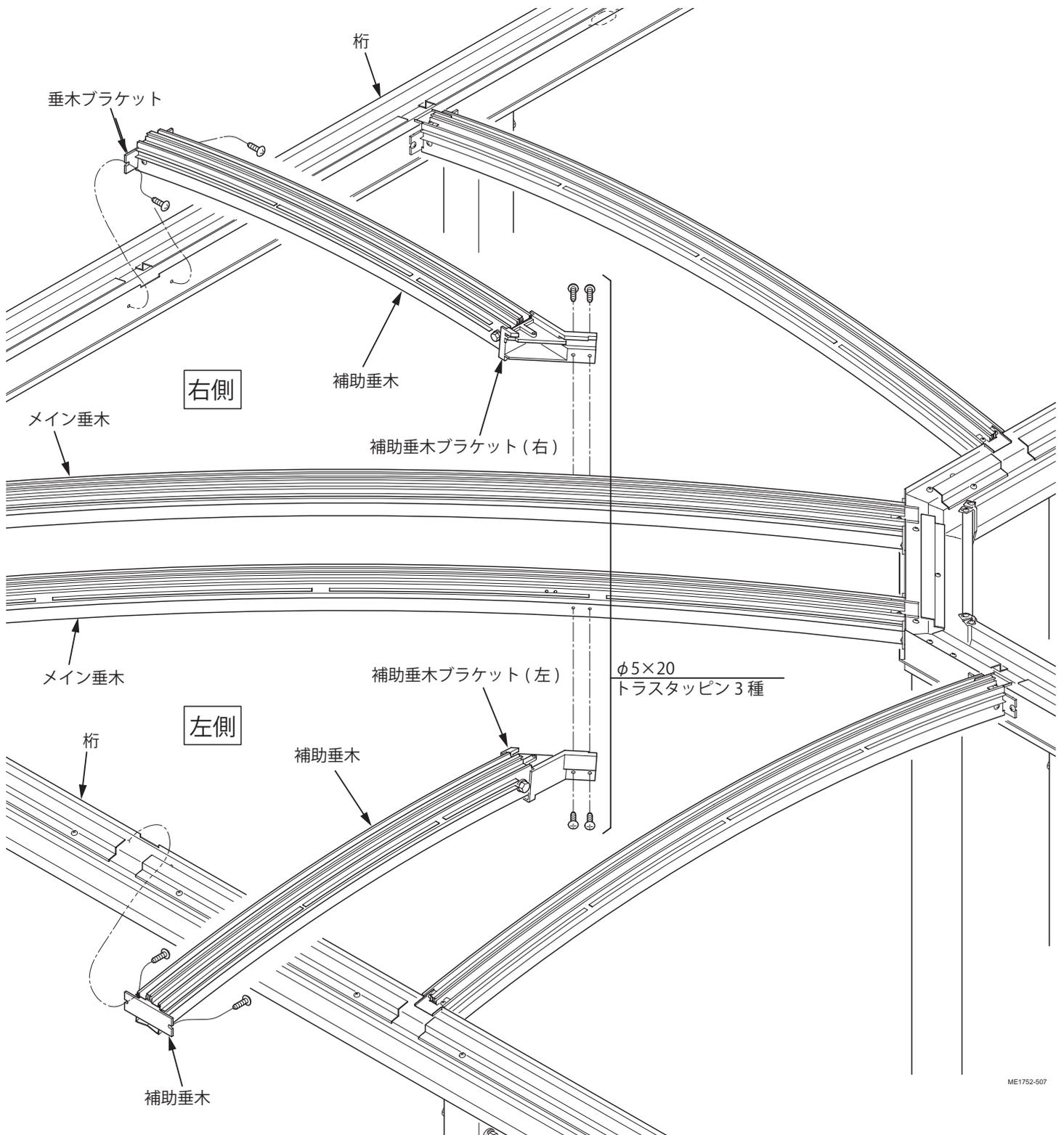
- ・両支持⇒ ME-1750 15 ページ 「5. 垂木の取付け」
- ・片支持⇒ ME-1777 16 ページ 「5. 垂木の取付け」

※垂木ブラケットの取付については、[ME-1750] または [ME-1777] 参照



補助垂木の取付け

- ⑦補助垂木ブラケットをメイン垂木に、垂木ブラケットを桁に取付けてください。



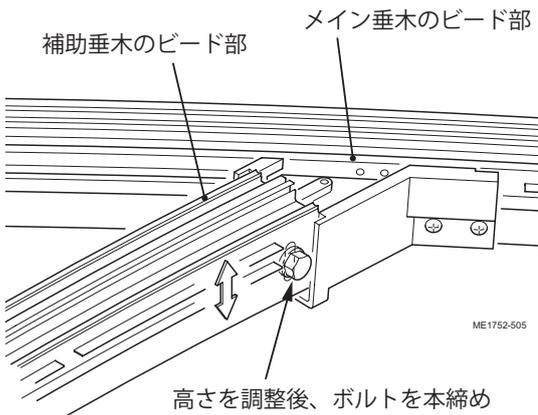
ME1752-507

 右図で補助垂木調整・シーリングの位置を確認してください。

⑦補助垂木の高さを調整し、ボルトを本締めしてください。

 屋根材を載せたときに段差が出ないように、メイン垂木と補助垂木のビード部高さを合わせてください。

 ボルトを確実に締め付けてください。



⑧スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] と同様の手順で、垂木排水部品を補助垂木の桁側に取付け、シーリング材で防水処理を行ってください。

 参照ページ

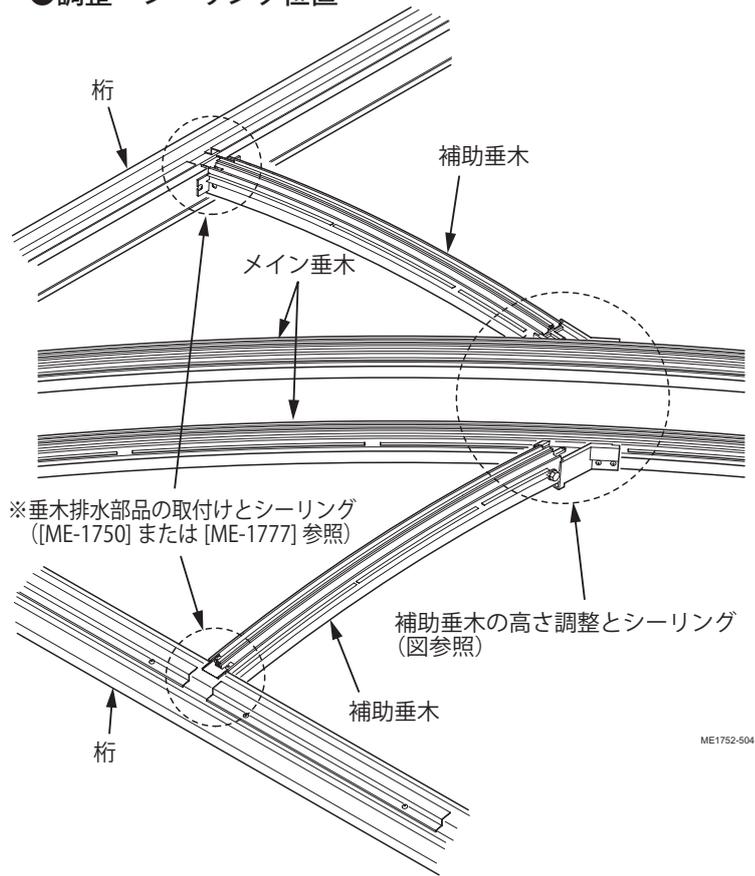
- ・両支持⇒ ME-1750 15 ページ 「5. 垂木の取付け」
- ・片支持⇒ ME-1777 16 ページ 「5. 垂木の取付け」

⑨補助垂木と補助垂木ブラケット、およびメイン垂木と補助垂木ブラケットのすき間にシーリング材で防水処理を行ってください。

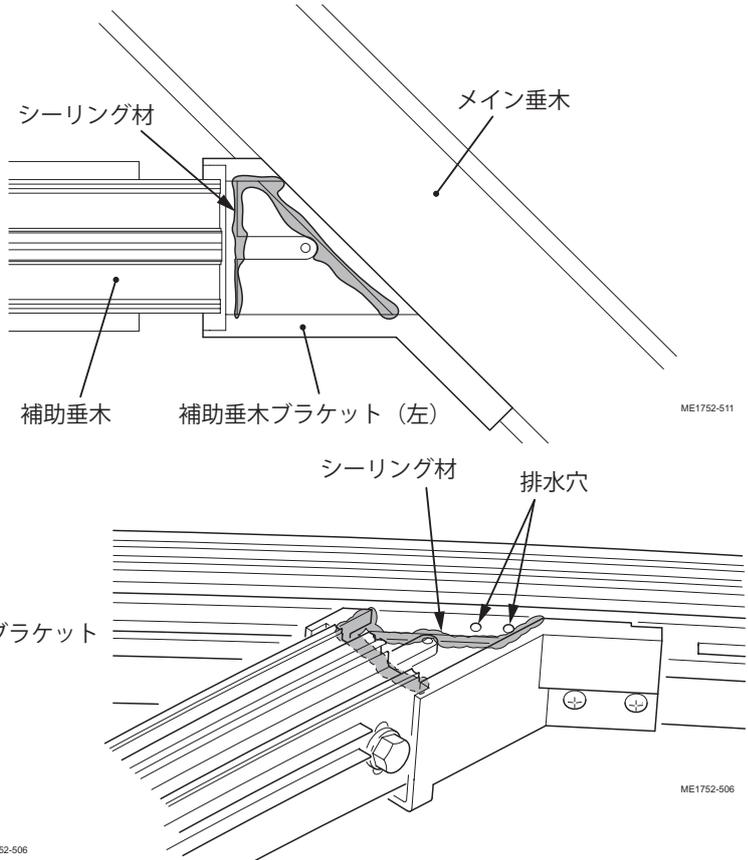
 メイン垂木の排水穴をふさがないようにしてください

 防水処理を確実に行ってください。
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。

●調整・シーリング位置



●シーリング位置詳細図



7

桁の本締めとコンクリートの打ち込み

- ①スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] と同様の手順で、支柱をコンクリートで固定してください。



参照ページ

- 両支持⇒ ME-1750 19 ページ
「7. 桁の本締めとコンクリートの打ち込み」
- 片支持⇒ ME-1777 20 ページ
「7. 桁の本締めとコンクリートの打ち込み」

8

中骨の取付け

- 中骨には、取付場所によって標準・メイン垂木取付用の2種類があります。
- 8ページの「垂木・中骨配置図」で中骨の種類と配置を確認してください。

8-1 中骨（標準）の取付け

- ①スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] と同様の手順で、中骨（標準）を垂木に取付けてください。

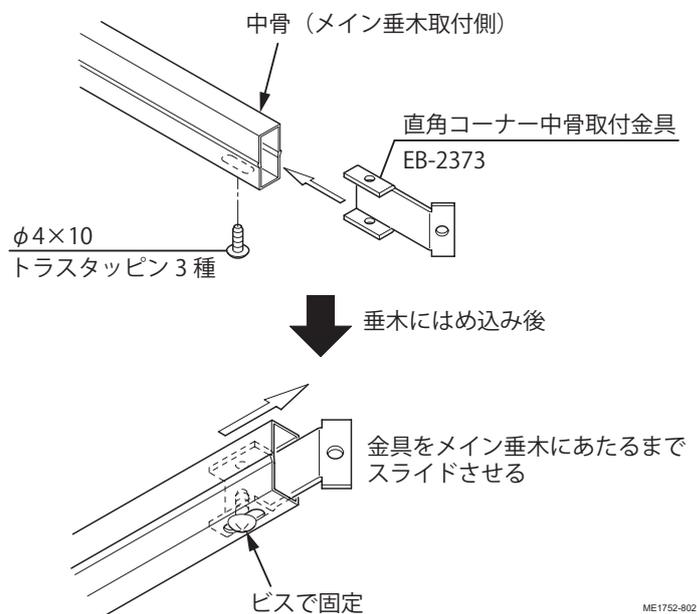


参照ページ

- 両支持⇒ ME-1750 20 ページ
「8. 中骨の取付け」
- 片支持⇒ ME-1777 21 ページ
「8. 中骨の取付け」

8-2 中骨（メイン垂木取付用）の取付け

- ①「納まり図」および8ページの「垂木・中骨配置図」で中骨（メイン垂木取付用）の取付位置を確認してください。
- ②中骨のメイン垂木取付側に直角コーナー中骨取付金具を差し込み、ビスを仮止めしてください。



ME1752-802

③中骨（メイン垂木取付用）を垂木に取付けてください。



- メイン垂木側は、取付金具をメイン垂木にあたるまでスライドさせて調整してください。
- 調整後、ビスを本締めしてください。



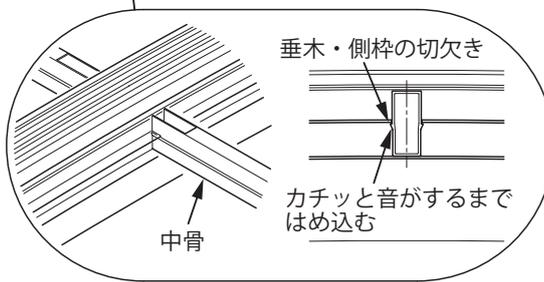
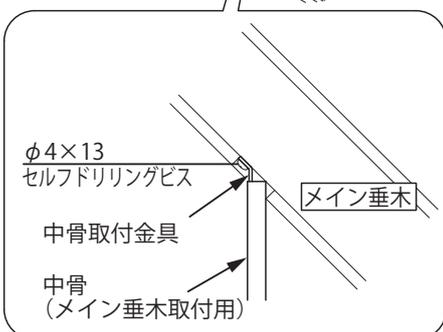
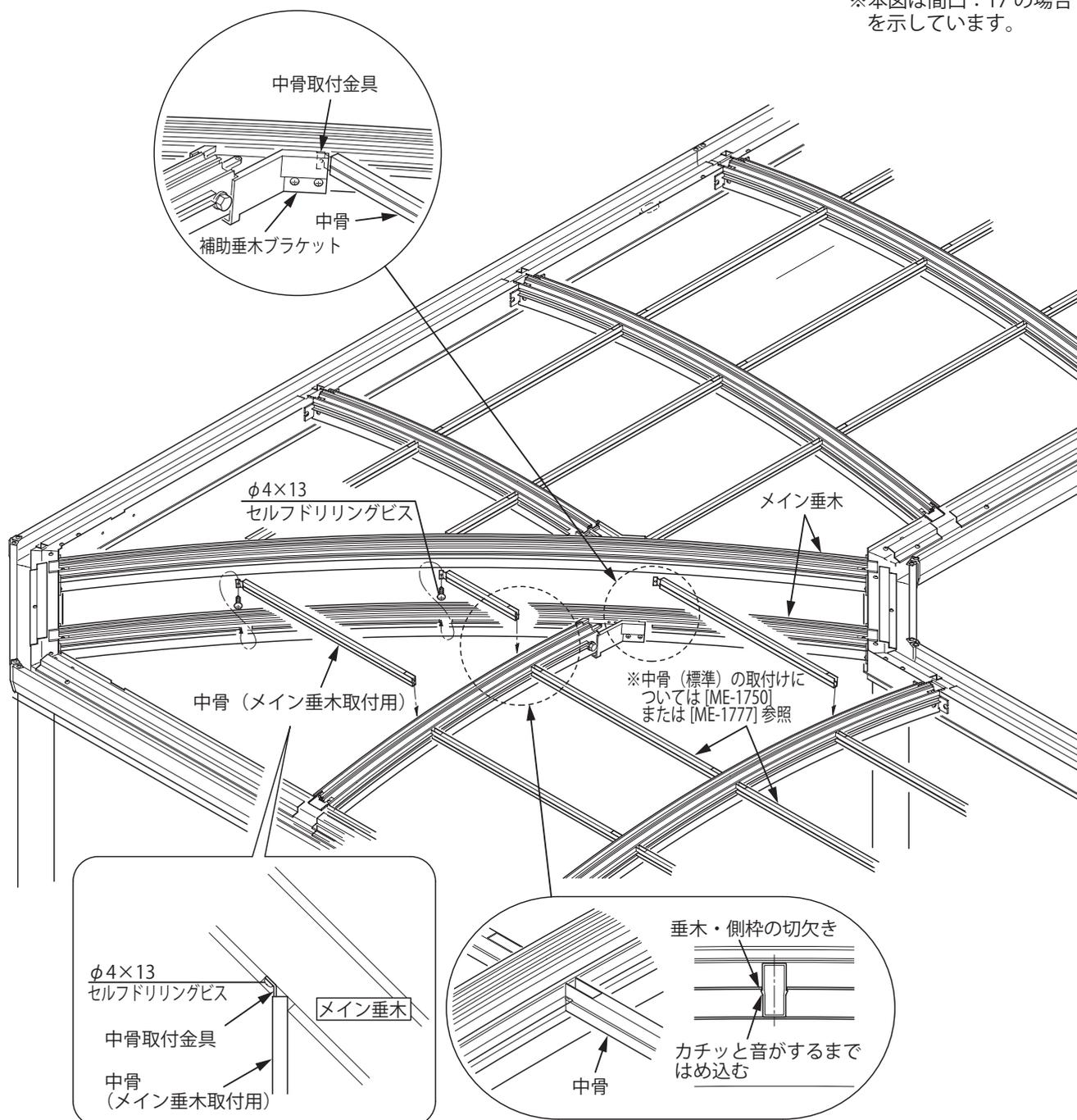
中骨を確実に取付けてください。
※取付けが不完全だと、屋根材が浮き上がり、雨漏りなどの原因になります。



間口：17の場合は、セルフドリリングビスは不要です。

●間口：17の場合

※本図は間口：17の場合を示しています。



9

屋根材の取付け

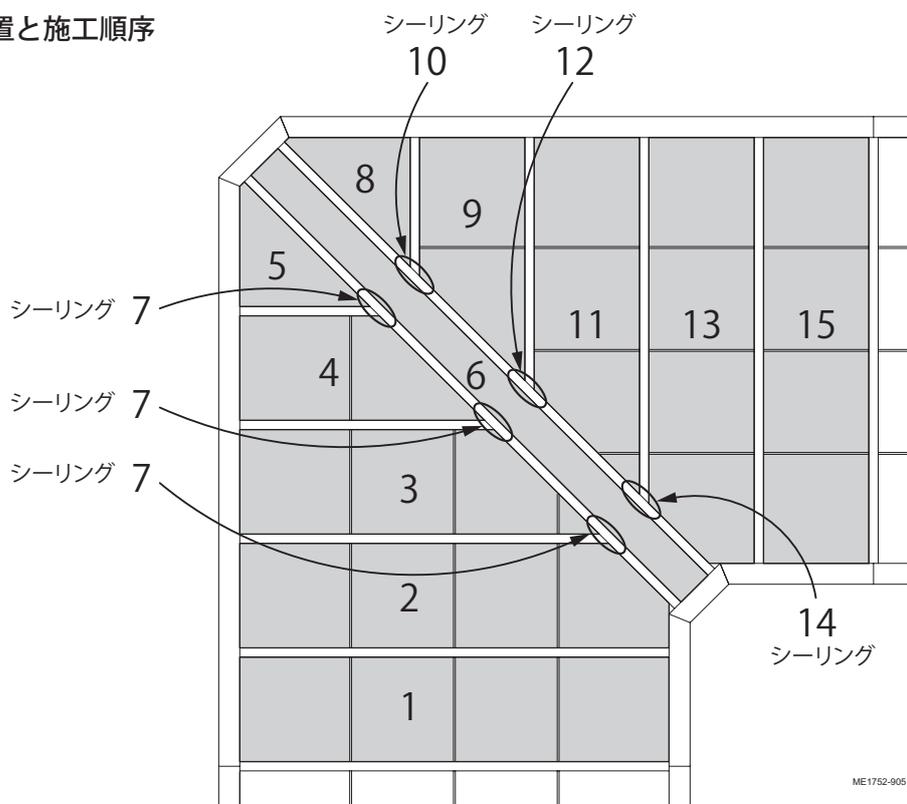


- 屋根材には、取付場所によって形状および左・右の区別があります。施工前に確認してください。
- ポリカーボネートの場合は、表・裏の区別があります。
- 取付けは、決められた順番通りに行ってください。（取付けとシーリングの順序を守ってください。）

9-1 施工前の確認

- ①屋根材の種類と形状を確認してください。
- ②屋根材の施工順序を確認してください。

●屋根材の配置と施工順序



※本図は、間口：30 の場合を示しています。

ME-1752-905

●屋根材の種類

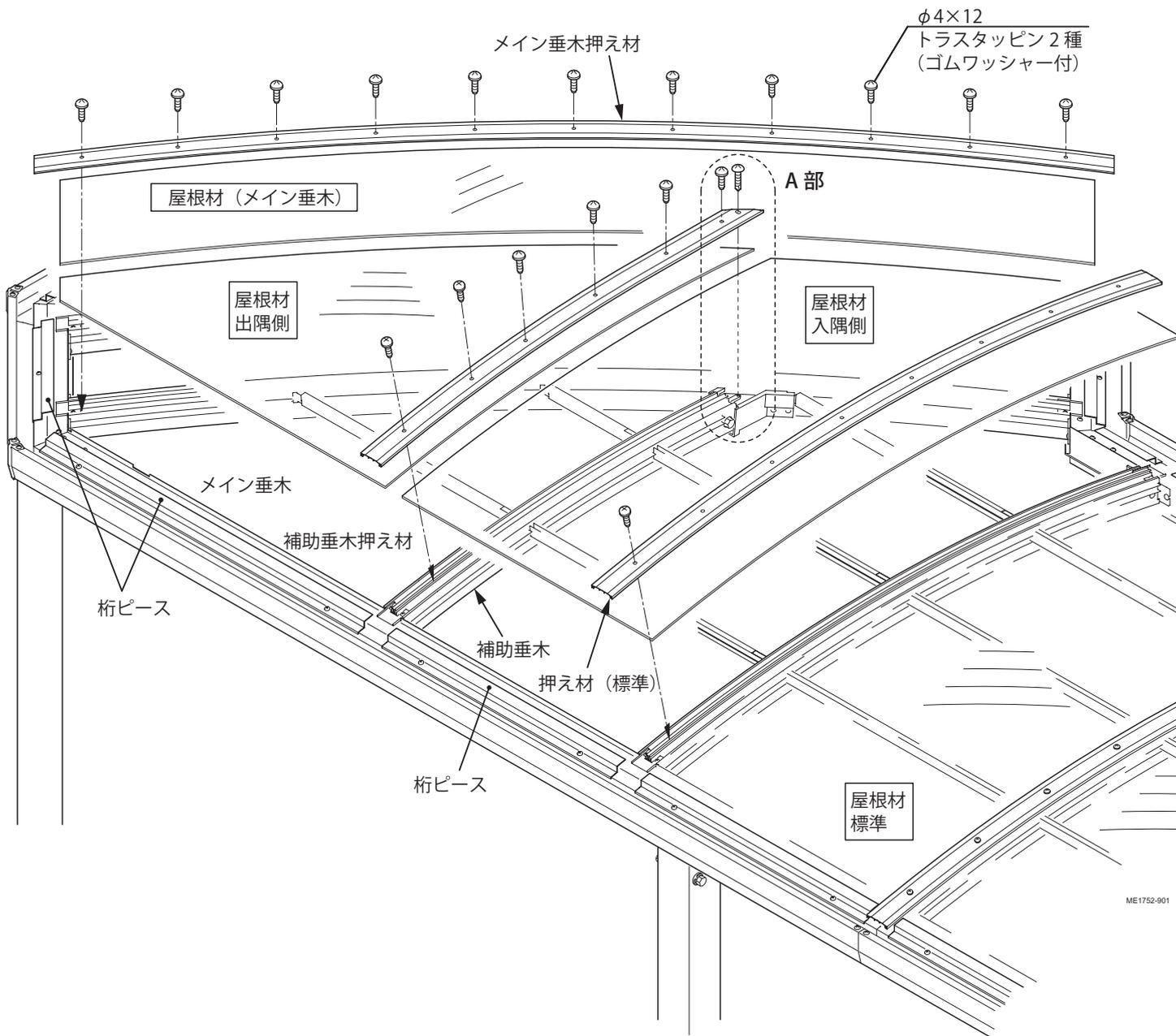
番号	名称	部品記号 (アルミ)	部品記号 (ポリカーボネート)
1・15	面材	AM-1090	EM-1286 (表・裏あり)
2・13	面材 (直角コーナー入隅側)	AM-1100	EM-1296 (左右・表裏あり)
3・4・9・11	面材 (直角コーナー中間部)	AM-1101	EM-1297 (左右・表裏あり)
5・8	面材 (直角コーナー出隅側)	AM-1099	EM-1295 (左右・表裏あり)
6	面材 (直角コーナーメイン垂木)	AM-1102	EM-1298 (表・裏あり)

9-2 屋根材の取付け



必ず施工順序どおりに取付け・シーリングを行ってください。
 ※施工順序を間違えると、屋根材を取付けることができません。

●取付イメージ図



ME1752-901

※本図は間口：17の場合を示しています。

屋根材の取付け

①前ページで施工順序を確認してください。

②屋根材のマスキングシートをはがしてください。

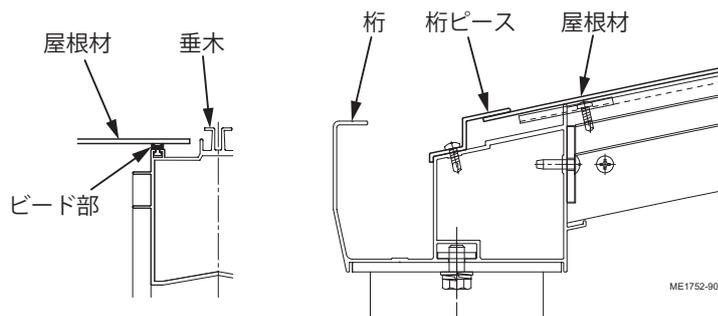


- 材質がポリカーボネートの場合は、表・裏があります。
- マスキングシートに天面表示があります。はがす前に確認してください。

③屋根材を桁の桁ピースに差し込み、垂木のビード部に均等に載せてください。



屋根材を四隅で均等に振り分けてください。



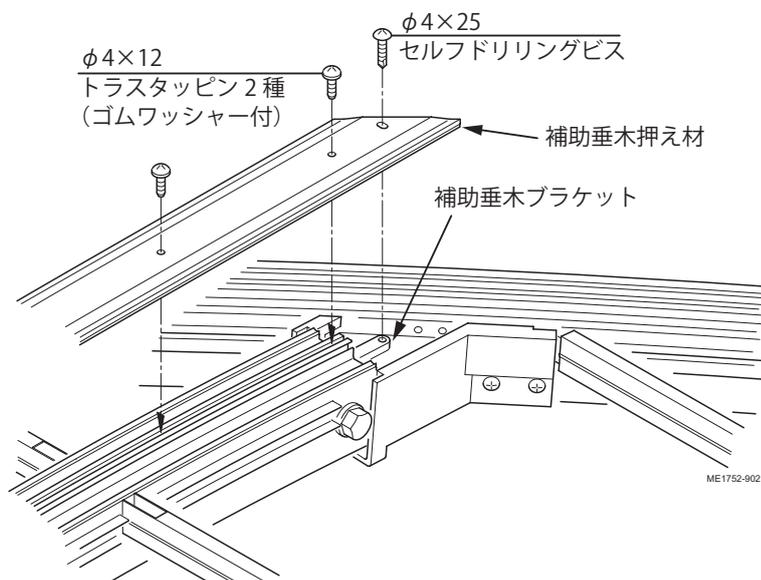
④押え材を屋根材のつなぎ目に載せ、ビスで固定してください。



- 押え材をビス止めするとき、インパクトドライバーを使用しないでください。
- ビスが空回りする場合は、ペンチなどで垂木の溝を狭めてから再度ビス止めしてください。



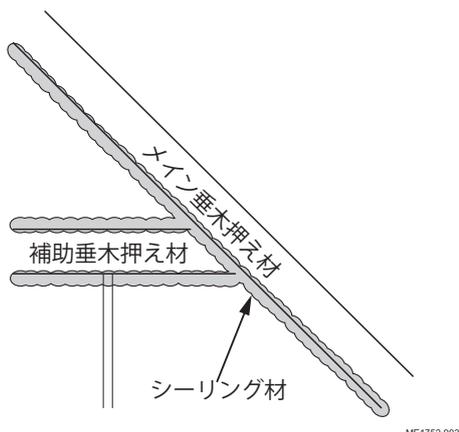
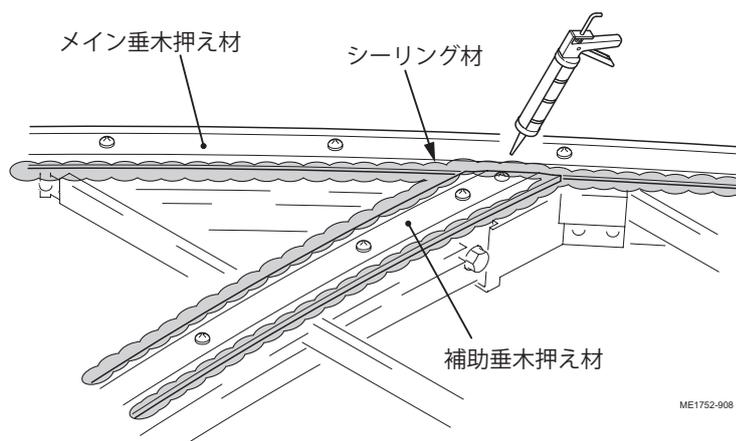
補助垂木押え材を取付けるときは、最初にφ4×25セルフドリリングビスを止めてから、他のビスを止めてください。



- ⑤補助垂木押え材とメイン垂木押え材の接合部にシーリング材で防水処理を行ってください。

! ポリカーボネートの場合は、ポリカーボネート専用のシーリング材を使用してください。
※使用しないと屋根材のひび割れの原因になります。

! 防水処理を確実に行ってください。
※防水が不完全だと、雨漏りなどの原因になります。



ME1752-908

10 雨樋の取付け

- 「納まり図」を参照して、雨樋の設置位置を確認してください。

- ①スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] を参照して、雨樋を取付けてください。



- 雨樋を直角コーナーの両端部に取付けてください。
- 落とし口は各1ヶ所となります。
(※水抜き穴ふさはぎは不要です。)
- 参照ページ
 - ・両支持の場合 ⇒ ME-1750 23 ページ 「10A. 雨樋の取付け」
 - ・片支持の場合 ⇒ ME-1777 24 ページ 「10A. 雨樋の取付け」

11 縦樋カバーの取付け (※オプション)

- ①スカイパス本体の施工説明書 [ME-1750] または [ME-1777] と同様の手順で、縦樋カバーを取付けてください。



- 参照ページ
 - ・両支持 ⇒ ME-1750 27 ページ「11. 縦樋カバーの取付け」
 - ・片支持 ⇒ ME-1777 31 ページ「11. 縦樋カバーの取付け」

施工完了時の注意事項

- ビス・ボルト類が確実に締め付けられているか確認してください。
- 可動部品については作動チェックを行い、不具合がないか確認してください。また、必要に応じて調整してください。
- 使用上危険な箇所等がないか点検してください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

- 「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
- この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年	月	日
施工工事店		TEL ()	-
販売店		TEL ()	-